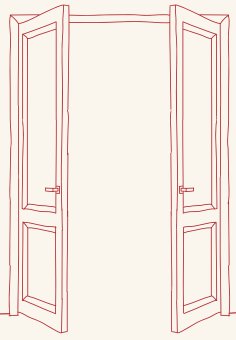


# 私のネクストステージ

—退職者への質問状—

Vol.27



## 「遊ぶ・学ぶ・社会貢献」。 人生の第3楽章を楽しんでいます!

元民間企業技術者

**渡邊 昭夫さん (83歳)**

1999年3月最終退職



【わたなべ・あきお】1934年山梨県生まれ。大学卒業後、東京の民間企業に技術者として入社。60歳で定年退職後、再雇用を経て65歳で最終退職。60歳から通い始めていたスペイン語教室では、運営に携わるボランティア活動にも参加。その後、外国人旅行者を対象にする観光ボランティアガイド団体「NPO法人 TOKYO FREE GUIDE」に所属、現在までスペイン語ボランティアガイドとして活躍する。趣味は写真撮影と海外旅行。平凡で平和な人生の第3楽章中。

— 渡邊さんは民間企業で働かれていたと  
いつことですが、退職後のライフプランは、  
何歳くらいの時から描かれていましたか。

考え始めたのは60歳の定年以降で、スペイン語を学び始めてからです。当時は、個人のライフプランよりも仕事優先の風潮があつたので遅れ気味でした。

— スペイン語は、いつ・どこで・どのようなことがきっかけで学ぼうと思われたようになりましたか。

若い頃に、仕事でスペイン語圏の人々と接する機会があり興味を持ちましたが、本格的に学ぶゆとりはありませんでした。60歳の定年退職直後に、幸運にも家の近くにスペイン語教室が開講されたので通い始めました。この1年後に妻から「ちょっとスペインに行ってみませんか?」と誘われ、2人で1ヶ月間、南端のマラガ県にある語学学校へ行ったことが大きなきっかけでした。

— その後どのような方法でスペイン語学習を続けましたか。また学ば上で苦労したことはありますか。

自習では、特に語学の天才シェリマンの奨める音読法に力を入れて、歯切れのよいスペイン語にチャレンジしています。

苦労したのは、日本の日常生活ではスペイン語に触れる機会が少なかったことです。ですが有り難いことに、通っていたスペイン語教室でボランティア活動に参加できたことで、外国人講師との直接対話もできて

勉強になり、大切な仲間もできました。

— スペイン語の魅力とは何でしょうか。

スペイン語は世界21ヶ国、42億人の公用語です。ローマ字を学ぶ日本人には発音しやすい馴染みやすい言葉で、様々な人と交流できるのが魅力です。私はスペイン語での観光ボランティアも行っています。

— それは、どのような経緯で始められましたか。

「TOKYO FREE GUIDE」という団体が、スペイン語のボランティアガイドの募集をした際、すでに会員であつた知人女性から誘われ受験し入会しました。以降同団体のエネルギーな若い人々の熱意に引かれながら、ガイドを楽しんでいます。

— 始められて、ご自身の思考・ライフスタイルに変化はありましたか。

大変化です。とにかくいろいろな外国人の活きたスペイン語に接することができ、会話力アップのための語学学習はものすごく重要ですが、日本の文化・地理などの再学習や健康管理、身だしなみ、話術、文通のためのパソコンやスマホなどの習得も大切です。苦労しますが、役に立つ苦労です。また若い人たちと接することができるのも大きな楽しみです。もっと若い時からチャレンジしておきたかったと痛感しています。

— ガイドとして具体的にどのような活動をされているのですか。

私の場合は、月平均4回程度の頻度で



スペインの中南部シウダー・レアル県からのゲストである若者3人と上野公園の桜を大いに楽しみました

2013年に来日したマドリッドからの3人組と、2年ぶりにマドリッドで感動の再会



スペインからの若夫婦に、急遽別のスペイン人夫妻がホテルで合流。「まあいいか！」と2組を同時にガイド。楽しく一緒に釜飯！

ガイドをしています。他のボランティアガイドの皆さんと比べると多い方です。

ガイドをする相手は、スペイン人・メキシコ人などで30〜40歳代の夫妻が多く、東京の東北部(上野公園・浅草・秋葉原など)と鎌倉が主な舞台です。特に、アルゼンチン人とスペイン人のバケーション時にあたる1月・2月・8月は忙しいですね。

——ボランティアガイドをする上で大変なことはありますか。逆に、魅力を感じるのはどんなところですか。

大変なことは、やはりゲストの安全・安心の確保です。このことは、ゲストとの約束を守り楽しいガイドをするために大切なことです。誠意あるガイドをするために心身の健康管理にも気をつけるようになったので、自分のためにもなっています。

魅力は何といつても、人との出会いです。大きな心の宝物が残ります。一昨年は妻と一緒にスペイン旅行をして、多くのゲストとの再会を楽しみました。感謝・感激の連続でした。彼らの赤ちゃんも生まれ、お付き合いはまだまだ続きそうです。また、ガイド先の地域の方々との出会いも魅力的で、日本の良さを体感できます。それをいかに的確に直接外国人に伝えるのか、やりがいのある課題です。

——ガイドボランティアでは、交通費などの実費はどつざつされているのですか  
費用は集合場所から解散場所までの交通

費・入場料・昼食費用がゲスト負担です。

——今後やりたいことはありますか。あるとすれば、それはどんなことですか。

誠意・熱意・創意をもつて、より魅力的なガイドになることを目指しています。しかし、いざれ実務が体力的に厳しくなった時は、働きながらボランティア活動に参加する若い皆さんのサポート役として、名所・名産・名物・名人探しや、ユニークなボランティアガイドのノウハウなどを、幅広く提供できるようにしたいものです。より広く、より深く、より楽しく、やりたいことに限りがないので忙しいです。

——最後に、現役世代の方にメッセージをお願いします。

私の人生第1楽章は、「遊ぶ・学ぶ」。第2楽章は、「働く・学ぶ」。第3楽章は、第1楽章と同じメロディーですが、社会貢献が加わります。今、私は家族の支援のもとで、「遊ぶ・学ぶ・社会貢献」の人生第3楽章を楽しんでいます。若いうちから、どのような強みを持ち、どのように自らを社会の中で活かしていくか。まず自ら考え行動することをお勧めします。実行力が大切です。そのための資格や検定に若いうちからチャレンジすることが効果的でしょう。活動の基礎となる家族を大切に、仲間を大切に。若い皆様の健闘を祈っています。

——人生の第3楽章はまだこれからですね。お話しいただき、ありがとうございました。